

設計業務（総合技術監理型）の新規制定について

令和4年7月1日

本州四国連絡高速道路株式会社

本州四国連絡高速道路(株)は、更なる耐震補強の設計を発注するにあたり、短期間に膨大な量の設計業務を円滑に施行する必要が発生しています。業務全体を統括する総合技術監理業務と複数の設計業務を一会社に契約し、発注者側の業務のマネジメントの一部を設計会社で実施する新たな入札契約方式です。

設計業務(総合技術監理型)の新規制定について(令和4年7月～)

■ 背景

当社では、更なる耐震補強工事を行うための耐震補強設計を発注いたします。
短期間に膨大な量の設計業務を円滑に施行する必要が発生しています。

■ 目的

耐震補強設計は、耐震照査(動的解析等)、設計計画・方針を個々の橋梁の特性を加味して行うため、受発注者間において多くの打合せが必須で膨大な業務量となり、双方に大きな負担となる。双方の技術者不足、負担軽減を主目的に新たな契約方式を制定するもの。

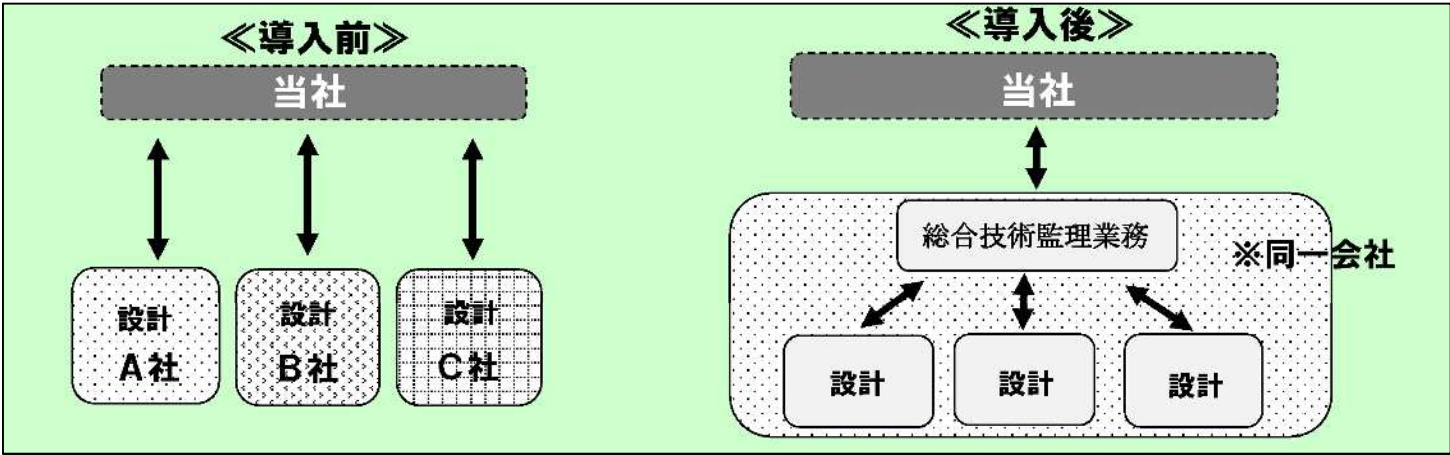
■ 設計業務(総合技術監理型)の概要

設計業務(総合技術監理型)とは、発注者を支援する総合技術監理業務と複数の設計業務とを合せて一つの会社と3年間を限度とし、契約する方式。

発注者との業務全般打合せは、総合技術監理業務と個々の設計業務と合わせて行う。
個々の設計業務に関する打合せは、統括管理技術者の指導支援を受けた上で行う。

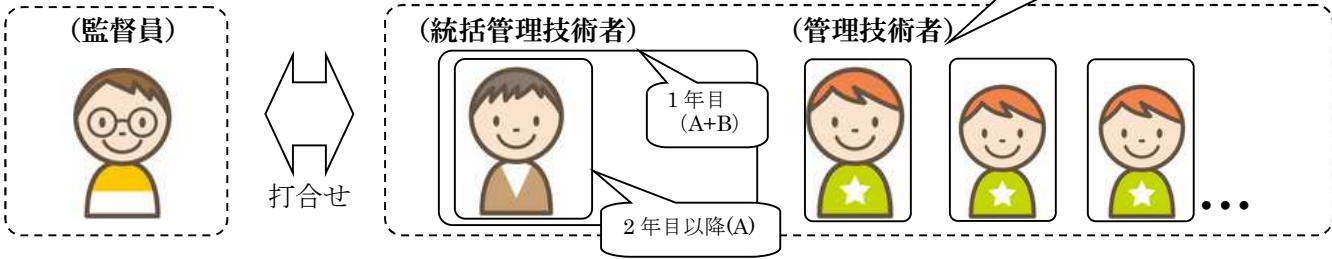
総合技術監理業務を含むため、難易度が高い業務と判断し、当初業務はプロポーザル方式、後続契約は随意契約(特命)とする。

発注規模は業務全体額を対象とし、WTO対象額以上を想定している。

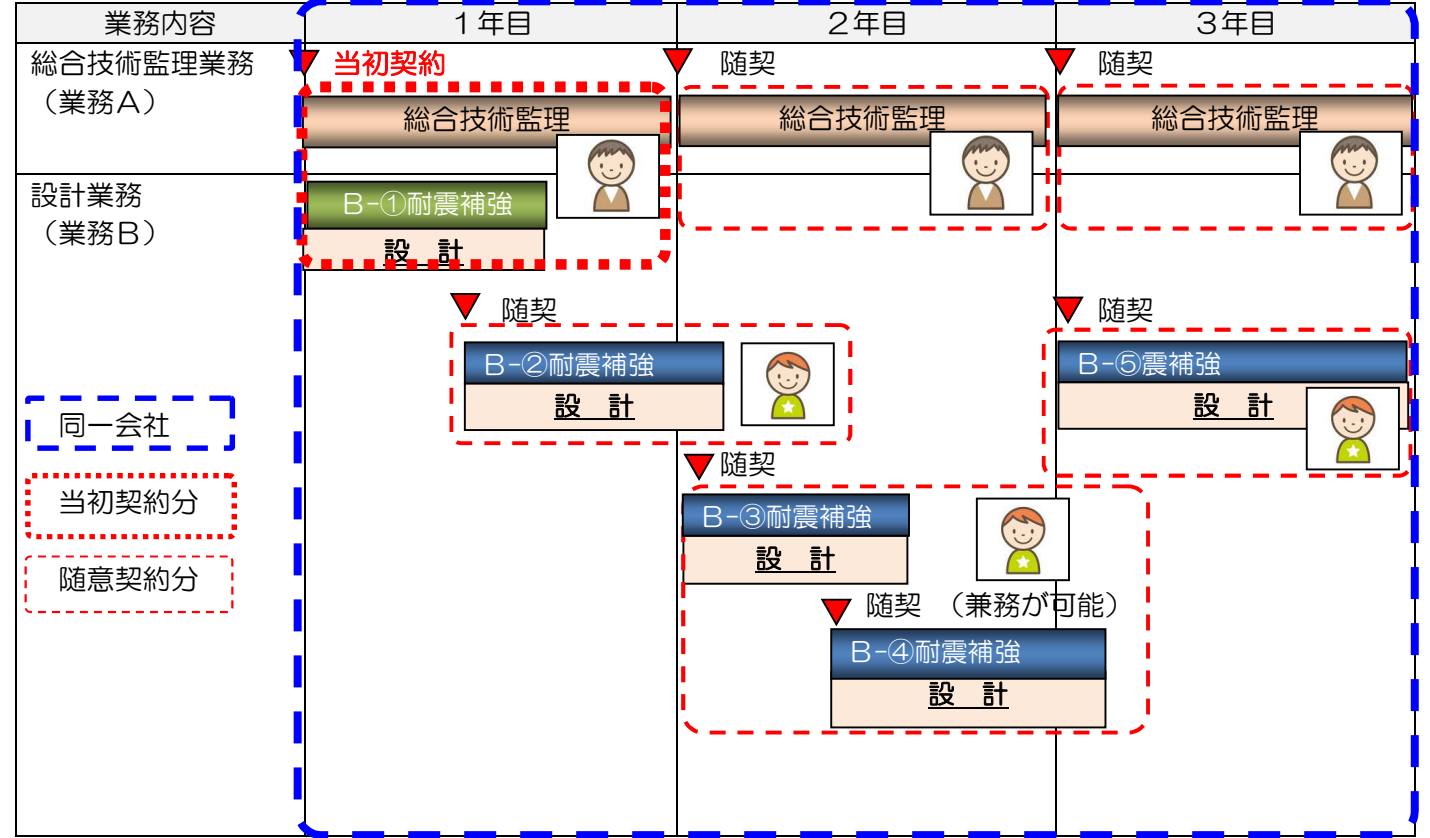


業務区分	業務内容	備考
総合技術監理業務	・ 設計業務全体の設計条件及び設計思想の統括及び監理を行う。 ・ 設計業務全体の設計条件(施工現場条件、工事条件、設計条件、協議条件)及び設計思想について、工事施工及び事業推進を考慮した最適な条件となるよう整理。 ・ 設計業務の問題等を取りまとめて発注者と打合せを行う。	
設計業務 (耐震補強)	・ 全ての対象橋梁において耐震性能照査を実施。 ・ 耐震性能照査の結果を踏まえ、耐震補強が必要な橋梁を選定。 ・ 耐震補強が必要な橋梁を対象に耐震補強設計を実施。	

《業務イメージ》(破線:当初公告範囲・業務Aの範囲、実線:個別契約単位)



《設計業務(総合技術監理型)の事務手続・工程イメージ》



■ 特徴(メリット)

- 統括管理技術者が全体のマネジメント、発注者対応を行うことで、受発注双方の負担軽減となる。
- 発注者を支援する業務(統括的業務)を業務として発注し、その実績を登録できる。
- 統括的業務に経験のある技術者を配置することで、設計業務では若手技術者を配置することができる
- 当初契約以外の設計業務において、発注ロット、履行期間、契約時期等を受注者の意向を反映することができる。
- 設計業務の手持ち業務を受注者の意向で複数の技術者へ分散することができる。
- 上記により、効率的に設計を行うため、膨大な耐震補強設計業務の確実な実施が可能となる。